第五講　漢文対策

一

問一　次の文章を読んで、あとの**問**に答えよ。〈法〉

中秋の月は四海陰晴を同じくす、といふはX東坡の説なりとて、五山の僧の対州に在番せしが、いづれの年か京と陰晴ことなりしを見ていぶかしくいひたり。今年文化丙子（注1）中秋、予が郷の神辺（かんなべ）は快晴たりしに、讃州は陰（くら）かりたりとて、友人の僧義立歌をよみ示せしに、…（以下略）。

（注1）　文化丙子…文化十三（一八一六）年。

問　傍線部X「東坡の説」は、中国北宋の文人、蘇軾作の次に掲げる漢詩の中の一句「万里同陰晴」に由来するものである。この句を含む漢詩を読んで、あとの問に答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

舒子在汶上　閉門相対清
鄭子向河朔　孤舟連夜行
頓子雖咫尺　兀如在牢扃
趙子寄書来　水調（注）有余声
悠哉四子心　共此千里明
1 <u>明月不解老　良辰難合并</u>
2 <u>回頭坐上人　聚散如流萍</u>
嘗聞 3 <u>此宵月</u>　万里同陰晴
天公自著意　此会那可軽
明年各相望　俯仰今古情

（注）水調…中国古典詩歌の曲調名。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（Ⅰ）　傍線部１「明月不解老　良辰難合并」の二句の説明として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

ア…明月の光は衰えないので、なかなか会えぬ者同士を一堂にあつめられる。
イ…明月は老いの悲しみを知らず、中秋の夜を遠くの友と一緒に楽しめない。
ウ…明月は雲に隠されぬままで沈んだので、千載一遇の良夜を満喫できた。
エ…明月が知らぬ老衰ゆえに、人は良夜とは縁遠いままだ。
オ…明月の美を理解しない老人とは、中秋の楽しみを分かち合えない。

（Ⅱ）　傍線部２の二句は「かつて同席していた仲間は、水に流れる浮草のようにばらばらになってしまっていた」という意味である。この二句の書き下し文として、最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

ア…回頭坐に上る人、聚り散ずる流るる如き萍
イ…頭を坐上の人に回せば、聚り散じて萍の如く流る
ウ…頭坐の上人を回せば、聚散流るる如く萍いたり
エ…回らす頭坐上人、聚散して如くこと流萍
オ…頭を回せば坐上の人、聚散すること流萍の如し

（Ⅲ）　傍線部３の「此宵」とは、陰暦の何月何日のことを指すか。最も適切な月日を楷書の漢字で記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　問題文乙（漢詩。本設問では省略）の「銜レ命還レ国作」と題する詩は、問題文甲（古文。本設問では全文は省略。該当箇所あたりは以下の『　』。『もろこしの言葉知りて、しかも才学すぐれたる阿倍のなにがし、釈空海などいへる人こそ…』（第四講の古文より））の二重傍線部「阿倍のなにがし」の詠作として収載される。その人物は誰か。その日本名の名前を漢字で記せ。〈政治経済〉

問三　「更無一事到中心」を「さらにいちじのちゅうしんにいたるなし」と訓読する場合、左記の白文に最も適当な返り点を記入せよ。ただし送り仮名は書かないこと。〈商〉

更　無　一　事　到　中　心

問四　「君可更作数曲」は、「もう何曲か弾いてください」という意味である。この意味に合うよう、左記の白文に返り点をつけよ（送り仮名はつけないこと）。〈文〉

君　可　更　作　数　曲

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二　次の甲を読んで、あとの問いに答えよ。　〈政治経済〉

甲

〔次の文章は、『列子』「楊朱」篇の一節である。文意を鮮明にするため、一部省略した字句がある。なお、傍線部・空欄および問題に関連する箇所の一部の送り仮名、返り点は省いてある。〕

宋国ニ有リ二田夫一。常ニ衣きテ二縕黂ヲ一、僅ニ以テ過スレ冬ヲ。暨およンデレ春ニ東作シ、自ラ曝さらス二於［A］一。不レ知ラ三天下之有ルヲ二広廈隩室、緜纊狐狢一。顧ミテ謂ヒテ二其ノ妻ニ一曰ク、「負フレ日ヲ之暄あたたかナルハ、人莫シ二知ル者一。以テ献ゼン二吾ガ君ニ一。Ｂ将有重賞」。里之富室告ゲテレ之ニ曰ク、「昔人ニ有リ下美うまシトスル二芹子ヲ一者上。対シテ二郷豪ニ一Ｃ称レ之。郷豪取リテ而嘗なムルニレ之ヲ、蜇さシ二於［D］一、惨いたム二於腹ヲ一。衆哂わらフレ之ヲ。其ノ人大イニ慙はヂタリ。Ｅ子此ノ類也。」

（注）「縕黂」…くず麻などを入れて作った着物。
「広廈隩室」…大きな家と暖かい部屋。
「緜纊狐狢」…綿と毛皮。
「芹子」…せり。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　空欄［A］および空欄［D］に入る最も適当な語を、次のイ～ホの中から一つずつ選べ。

A　イ　水　ロ　風　ハ　火　ニ　雨　ホ　日

D　イ　耳　ロ　指　ハ　口　ニ　首　ホ　掌

問二　傍線部B「将有重賞」をひらがなで書き下した文として最も適当なものを、次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　もちひてしやうをおもんずるあり。
ロ　もつてぢゆうしやうあらんとす。
ハ　ひきゐてぢゆうしやうあらんとす。
ニ　まさにぢゆうしやうあらんとす。
ホ　しやうにしやうをおもんずるあり。

問三　傍線部C「称」はどのような意味か。その意味を表す漢字二字の語を、甲の文中にある漢字一字を「称」の前か後に加えて作り、楷書で記せ。

問四　傍線部E「子」は誰を指すか。次のイ～への中から一つ選べ。

イ　田夫　ロ　田夫の妻　ハ　吾が君　ニ　富室　ホ　郷豪　へ　衆

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三　次の文章は『栄華物語』の一節で、中納言藤原長家が妻を喪（うしな）い嘆き悲しむ場面である。読んで、あとの**問**に答えよ。

〈人間科学〉

やうやう日ごろになるままに、中納言殿、あはれに恋しく悲しとも世の常におぼされて、文集の文をおぼしあはせらる。李夫人の有様もかやうにこそはとおぼされて、「灯火を背け、壁を隔てて語らふことを得ず。いづこぞしばらく来（きた）りて、早くあひ見ることを目（もく）せん。心をいたすこと、一人武皇帝（ぶくわうてい）のみにあらず、古（いにしへ）より今に至るまで、また多くかくのごとし」と、おぼしつづけて、…（以下略）。

問　次の漢文は、問題文中に言及される「文集の文」の典拠となる文章である。この漢文を読んで、あとの（1）～（3）の問いに答えよ（設問の都合上、返り点・送り仮名を省いた箇所がある）。

及ンデ二李夫人卒（しゆつ）スルニ一、上（しやう）以テ二后礼ヲ一葬ルレ焉ヲ。[1]上思二-念シテ李夫人ヲ一不ルニレ已（や）マ、方士少翁（せうをう）言フ能ク致スト二其ノ神（たましひ）ヲ一。乃（すなは）チ夜ニ張リ二灯燭ヲ一設ケテ二帷帳（ゐちやう）ヲ一陳（つら）ネ二酒肉ヲ一、而シテ令シム下上ヲシテ居リテ二他帳ニ一、遥カニ望中-見セ好女（かうぢよ）ノ如キ二李夫人ノ一之貌（ばう）ノモノ、還（ま）タ幄（とばり）ニ坐シテ而歩クヲ上。又[2]不得就視。上愈（いよいよ）益（ますます）相思ヒ悲感シ、令ム三

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

楽府ノ諸音家ヲシテ絃‐歌セ二之ヲ一。上又自(みずか)ラ為(ため)ニ作リテレ賦(ふ)ヲ、以テ傷(しやう)‐悼(たう)ス二夫人ヲ一。

（班固『漢書』より）

（注）上……武皇帝をさす。
后礼……后（きさき）としての扱いでとり行う儀礼。
方士……宮廷に仕えている呪術師。
少翁……方士の名。
還幄坐而歩……「くりかえし帳の中で座ったり立って歩いたりする」の意。
楽府……宮中に設けられた音楽をつかさどる役所。

（1）傍線部1「焉」に最も近い意味をもつ文字はどれか。次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　之　ロ　悪　ハ　終　ニ　乎　ホ　故

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（2）傍線部２「不 得 就 視」の解釈として最も適切なものを、次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　長くは見張れなかった。
ロ　たちまち消えてしまった。
ハ　見ないわけにはいかなかった。
ニ　近くで見ることができなかった。
ホ　正式に面会することができなかった。

（3）漢文の内容に合うものを、次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　李夫人は方士を介して武皇帝との再会を画策したが、そのまえに亡くなってしまった。
ロ　武皇帝は方士の術を頼って李夫人の霊に会おうと試みたが、不本意な結果に終わった。
ハ　武皇帝は李夫人と会うことはできたが、灯火や壁に隔てられて言葉を交わせなかった。
ニ　方士は李夫人のまわりを食物やとばりで囲み、武皇帝と話ができないように仕組んだ。
ホ　李夫人は方士を介して武皇帝の霊魂と面会したが、悲痛な心のうちは明かせなかった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四　次の文を読んで、後の**問い**に答えよ。なお、設問の都合上、返り点、送り仮名を省いた箇所がある。〈教育〉

隆徳府(注①)屯留県王誥、字宣叔、少習文、応進士挙。以家貧訓幼学為業、屡取郷薦。而於省試(注②)輒不利。毎赴省試、必夢胡僧。姿状雄偉、謂曰、「君此行徒労耳。君骨相雖主有才、而不応得禄位。寿可過耳順。外是、非余所知也」。年五十余、又将赴省試、夢前僧、相賀曰、「君是挙必登第無疑矣」。夢中詰之曰、「<u>師向語我不当得禄位</u>(1)。今乃云登第、何也」。僧曰、「以君教導童子、用心篤至、<u>不負其父母所託</u>(2)、為有陰徳、故天益君算(注③)而報君以禄位」。因引至一官府、指庭下所陳古楽器曰、「<u>君姑記之、異時当自悟也</u>(3)」。厥後亦数有夢、但其僧不復見、而所陳楽器如初。時蜀公(注④)方献新楽、詔於延和殿(注⑤)按試(注⑥)。誥意

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

廷試[注⑦]必ズ問フレ楽ヲ、<u>凡古今楽事、無二不レ経レ意者一。</u>[4]逮ビ二試日ニ一、所ノレ得ル賦題ハ、乃チ「楽調四時和」スト也。是ノ歳、始メテ預リ二正奏名ニ一、遂ニ於イテ二馬涓榜下[注⑧]ニ一賜ハルレ第ヲ。歴官数任ニシテ、以テ二奉議郎ヲ一致仕シ、年七十有七ニシテ、卒ス二於家ニ一。潞[注⑨]人能ク言フ二此ノ事ヲ一者甚ダ多ク、因リテ為ニ記スレ之ヲ。

（朱弁『曲洧（きょくい）旧聞』より）

注

① 隆徳府屯留県…今の山西省屯留県。
② 省試…都で行われる科挙の最終試験。
③ 算…ここでは、寿命の意。
④ 蜀公…范鎮のこと。
⑤ 延和殿…皇宮のなかにある宮殿の一つ。
⑥ 按試…演奏させて試聴すること。
⑦ 廷試…省試に同じ。
⑧ 馬涓榜下…馬涓（ばけん）（人名）が主席合格した試験、の意。
⑨ 潞（ろ）…隆徳府の別名。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部１「師向語我不当得禄位」は、「シサキニワレマサニロクヰヲウベカラズトカタレリ」と読み下す。この読み下し文になるように、左記の白文に返り点を付けよ。ただし、送り仮名は付けないこと。

師向語我不当得禄位

問二　傍線部２「不負其父母所託」の意味として最も適切なものを、次のア〜オの中から一つ選べ。

ア　童子たちの両親の大きな期待を裏切ることがなかった。
イ　童子たちの両親があれこれ口出しするのに屈しなかった。
ウ　童子たちが両親を背負っていけるだけの実力をつけさせた。
エ　童子たちに両親の期待に沿うよう教育することを忘れなかった。
オ　童子たちに両親の重い期待に負けない精神力を身につけさせた。

問三　傍線部３「君姑記之、異時当自悟也」の訳として最も適切なものを、次のア〜オの中から一つ選べ。

ア　君がひとたびこのことを記録したならば、後世の人々はきっと君のことを深く理解するに違いない。
イ　君はひとまずこのことを覚えておきなさい。将来のいつか、その意味することをはっと悟るであろう。
ウ　君がたとえこのことを記録したとしても、時代が違えば意味がなくなることを、きっと悟るであろう。
エ　君は必ずやこのことを記憶にとどめなさい。後でよくよく考えて、その真意を悟るべく精進しなさい。
オ　君の姑（しゅうとめ）はこのことをよく覚えている。次に不思議なことが起きた時に、君自身がそれを思い知るだろう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　傍線部4「凡古今楽事、無不経意者」の意味として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選べ。

ア　おおよそ古今の娯楽に関わる事柄を、彼はすべて調べて把握した。
イ　おおよそ古今の楽しみを成功できる術について、彼はすべて知りつくした。
ウ　おおよそ古今の音楽すべてについて、彼は細大もらさず理解し演奏してみた。
エ　おおよそ古今の音楽に関わる問題で、彼が注意して考えないものは何一つなかった。
オ　おおよそ古今のすべての楽しい遊興について、彼はいつも想像をふくらませては楽しんだ。

問五　この本文の内容に**合致しないもの**を、次のア～オの中から一つ選べ。

ア　胡僧の夢のお告げによって、王諸は何度も落第した科挙の試験に合格し、役人になれた。
イ　王諸はとても信心深かったので、胡僧が夢にしばしば現れ、たくさんの有益な助言を与えた。
ウ　胡僧は夢の中で王諸をとある役所に連れて行き、そこである光景を見せて、科挙の試験問題を暗示した。
エ　王諸が熱心に児童に勉強を教えたため、天はその真摯な姿勢に感じ入り、彼の運勢をよりよいものに変えた。
オ　王諸の家は貧しく、もっぱら受験勉強に勤しむゆとりがなかったため、児童に勉強を教えることで生計を立てていた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

五　次の文章を読んで、あとの問いに答えよ（返り点・送り仮名を省いた箇所がある）。〈文〉

先儒嘗謂、孔子之言性相近也、習相遠也、雖有相近之説、而不言其善悪。自孟子始有性善之説。孟子既以為善、故荀卿以為悪。善悪[A]已言之矣。故揚雄以為善悪混。善悪混揚雄既言之矣。故韓愈以為上中下三等。起諸子紛紛之論者、蓋自孟軻啓之。是説何其浅也。君子之語道、惟其是而已。B豈宜求異而自立其説哉。殊不知、孟子性善之説、蓋本於易之継之者善、成之者性之説。真不易之論也。荀卿之所謂悪者、是以情為[C]也。揚雄之所謂善悪混者、是以習為性也。韓愈之所謂上中下三等、是以才為性也。皆不明其本。明其本者、惟孟子性善之説為至当。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（『東園叢説』による）

注　先儒…先代の儒者。
性相近也、習相遠也…『論語』の言葉
荀卿…荀子。
揚雄…前漢末の人。
韓愈…唐の人。
孟軻…孟子。
何其~也…なんと~であろうか。
継之者善、成之者性…儒教経典の一つ『易経』の言葉。

問一　空欄[A]に入る語として最も適当なものを次の中から選べ。

イ　孟荀　　ロ　孟子　　ハ　荀子　　ニ　孔子　　ホ　孔孟　　ヘ　孔荀

問二　傍線部B「豈宜求異而自立其説哉。」の返り点として最も適当なものを次の中から選べ。

イ　豈宜[下]求[二]異而自[一]立[中]其説[上]哉。
ロ　豈宜[下]求[レ]異而自[上レ]立[二]其説[一]哉。
ハ　豈宜[レ]求[三]異而自[二]立[レ]其説[一]哉。
ニ　豈宜[下]求[レ]異[二]而自立[一レ]其説[上]哉。
ホ　豈宜[二]求異[一]而自[レ]立[二]其説[一]哉。
ヘ　豈宜[三]求[レ]異而自立[二]其説[一]哉。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　この文章からわかる筆者の意見に合致するものを次の中から一つ選べ。

イ　『易経』以外に真理はないのであり、その根源にあるものこそ性善説である。
ロ　人はどうしても悪いことをするので、性善説に則った教育をする必要がある。
ハ　孔子に始まる儒家思想は相当に完成したものなので、やはり『論語』を出発点とすべきである。
ニ　先儒が説くように揚雄や韓愈の説にも採るべきところがあるので広く学ぶべきである。
ホ　先儒の言うとおり性善こそ人間の本性であり、他の説はそれを展開したものにすぎない。
ヘ　儒家思想において人の性の善悪をさまざまに論じるのは、本質的なことではない。

問四　空欄［C］に入る語として最も適当な一字を本文中から選び、記せ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　復習問題

① 「九陌の塵」は、都の喧噪や都市の生活を象徴する語である。都の生活をテーマに詠じた次の南宋・陸游の漢詩を読み、あとの問に答えよ。

世味年来薄キコト似タリレ紗ニ（注1）
誰カ令三騎レ馬ニ客二京華一
小楼一夜聴キ二春雨ヲ一
深巷明朝売ル二杏花ヲ一
矮紙（注2）斜行閑カニ作シレ草ヲ（注3）
晴窓細乳（注4）戯レニ分スレ茶ヲ（注5）
素衣莫起風塵歎
猶ホ及ビテ二清明ニ一（注6）可シレ到ルレ家ニ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（注1）紗…うすぎぬ。
（注2）矮紙…小さな紙切れ。
（注3）作草…草書体の字を書く。
（注4）細乳…茶をたてる時にできる細かい泡沫のこと。
（注5）分茶…茶をたてること。
（注6）清明…晩春の節句。郊外の山野に出かけたり、墓参りをする日。

（Ⅰ）傍線部は、ある古人が「白い衣服が都会の土ぼこりで真っ黒になってしまった」と嘆いた故事を踏まえている。この句の書き下し文として、最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

イ　素衣　風に起こる塵を歎くこと莫かれ
ロ　素衣　起こる莫く　風塵に歎く
ハ　素衣　風塵に起くるを歎くこと莫し
ニ　素衣　莫として風塵起こるを歎く
ホ　素衣　風塵の歎きを起こすこと莫かれ

（Ⅱ）この詩の詩型を、次の中から選べ。

イ　五言絶句　　ロ　七言絶句　　ハ　五言律詩　　ニ　七言律詩　　ホ　七言古詩

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②　次に示すのは、『全唐詩』所載の「銜レ命還レ国作」と題する詩（五言排律）である。これを読んで、あとの問に答えよ（なお、一部の送り仮名、返り点は省いてある）。

銜（ふく）ミテレ命ヲ還レ国作

銜（ふく）ミテレ命ヲ将レ辞レ国
非才忝（かたじけな）クス二侍臣ヲ一
天中恋ヒ二明主ヲ一
海外憶フ二慈 X 一
伏奏シテ違（さ）リ二金闕ヲ一
騑驂去ル二玉津ヲ一
蓬萊郷路遠ク
若木故園ノ隣
西望懐フノレ恩ヲ日
東帰感ズルレ義ヲ辰

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

平生一宝剣
留メテ贈ルレ結レ交人ニ

（注）「若木」…日の没するところに生えている木の名。

問 空欄[X]に入る最も適当な語を、次のイ〜ホの中から一つ選べ。

イ 悲　ロ 母　ハ 父　ニ 愛　ホ 親

③ 次の文章は『浜松中納言物語』の一節である。中納言は亡き父が唐土の皇子に転生していることを知って、唐土に渡った。これを読んで、後の**問**に答えよ。

〈中略〉若き女房七、八人ばかり、天降りけむ乙女の姿かくやと見えて、菊の花もてあそびつつ、「蘭蕙苑（らんくゑいゑん）の嵐の」と若やかなる声合はせて誦（ず）んじたる、めづらかに聞こゆ。御簾のうちなる人々も、「この花開けて後」と口ずさび誦ずるなり。…（以下略）。

問 二重傍線部「この花開けて後」は『和漢朗詠集』からの引用であるが、元々、唐の漢詩人元稹が作った、次の漢詩をふまえている。この漢詩を読んで、後の（1）・（2）の問いに答えよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

［Y］
繞（めぐリテ）レ舎（いへヲ）似（タリ）二陶家（注）一
遍ク繞（めぐ）レバ二籬（注）辺一日漸ク斜（かたぶク）
不是花中偏愛菊
此花開尽更無花

（注）陶家…陶淵明の家
籬辺…垣根のあたり

（1）空欄［Y］に入る語として、最も適当なものを次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　春宵　　ロ　夏虫　　ハ　夏花　　ニ　秋空　　ホ　秋叢

（2）傍線部の白文の意味として、最も適当なものを次のイ～ホの中から一つ選べ。

イ　この花ほど美しい花は、他には存在しないということ。
ロ　この花が咲き終われば、当面咲く花がないということ。
ハ　この花の咲く時間は短いので、大切に見なければならないということ。
ニ　この花が一番好きなので、愛する人もその前では色あせるということ。
ホ　この花を好きとはいえないのは、同じ時期に咲く花がないためだということ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「乃微服游於康衢」の読み下しとして、正しいものを次の中から一つ選べ。

イ　乃れ微かに康衢にて服游す
ロ　乃微服にて康衢を游ぶ
ハ　乃ち微服して康衢に游ぶ
ニ　乃れ微して服游に衢を康す
ホ　乃ち微かに康衢を服游す

⑤「尭」と並び称される名君を、次の中から一つ選べ。

イ　明　　ロ　蘇武　　ハ　舜　　ニ　呉　　ホ　孔明

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第五講】

〔模範解答〕

一

問一　（Ⅰ）イ　（Ⅱ）オ　（Ⅲ）八月十五日

〔訳〕

舒煥は汶水のほとりにいて、俗人との交わりを絶ち清らかに暮らしている
鄭僅は河北の地に向かって、小さな舟を連夜進めている
頓起は近くにいるが、鍵をかけた牢獄にいるかのごとく孤高である
趙杲卿は手紙を送って来てくれたが、（そこに書かれた）水調にはかすかな響きが感じられた
思いはつきないなあ、四人の心は、この千里を照らす月明りを共にしているのだと
明月は老いの悲しみを知らず、中秋の（良き）夜を遠くの友と一緒に楽しめない
ふり返って見るとかつて同席していた仲間は、水に流れる浮草のようにばらばらになってしまっていた
以前次のように聞いたことがある、この中秋の月は、どこであってもくもりと晴れとが同じであると
天が自ら定めたのであるから、この夜の出会いをどうして軽んじることができようか
来年五人が（月を）眺めるならば、今と昔の心に思いをやるであろう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　仲麻呂
問三　更無㆔一事到㆓中心㆒
問四　君可㆔更作㆓数曲㆒

二

問一　A ホ　D ハ
問二　ニ
問三　称美
問四　イ

〔訳〕

宋の国に農夫がいた。（農夫は）いつもくず麻などを入れて作った着物を着て、なんとか（その粗末な着物で）冬の寒さを乗り切っていた。春になると農作業をし、体に太陽の光を浴びて暖かくなった。（農夫は）世の中に大きな家や暖かい部屋、綿入れや毛皮の着物が有ることを知らなかった。（そこで農夫は）その妻に向かって言った、「太陽の光を浴びた暖かさは、（私以外に）知っている者はいない。この暖かさを君主様に献上しよう。きっと沢山の褒美がいただけるだろう」と。（この話を耳にした）村の金持ちが農夫に忠告して言った、「その昔、芹を美味しいと思った人がいた。（その人は）土地の有力者に向かって芹は美味しいと称賛した。（そこで）村の有力者は芹を採って食べると、口はひりひりし、腹が痛くなった。人々はこの有力者を嘲笑した。（そして）その人は非常に恥じ入ったという。あなた〔＝農夫〕はその人と同類だ」と。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三

（1）イ
（2）ニ
（3）ロ

〈訳〉

李夫人が亡くなった時、武皇帝は后としての扱いでとり行う葬送を行った。武皇帝が李夫人を慕ってやまないので、方士の少翁が「李夫人の魂を呼び寄せることができる」と言った。そこで、夜、灯火を巡らし帳（とばり）を用意して酒や肉を並べて、そして武皇帝には別の帳の中にいてもらって、李夫人のような美女の面影が、くりかえし帳の中で座ったり立って歩いたりする様子を遠くから見られるようにした。（武皇帝は）近くで見ることはできなかった。武皇帝はこれまで以上にいっそう李夫人のことを思って悲しみに浸り、楽府の音楽家たちに命じて李夫人に関する（武皇帝が作った）詩を演奏し歌わせた。武皇帝はさらに自分で（李夫人のために）賦も作って、彼女を悼んだのだった。

四

問一　師向語二我不レ当レ得二禄位一
問二　ア
問三　イ
問四　エ
問五　イ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔訳〕

隆徳府の屯留県の王諸は、字を宣叔といい、若い頃から学問を習い、（科挙の科目の一つである）進士の試験を受験していた。家が貧しかったため童子を教えて生計を立てていたが、たびたび地方官からの推薦を受ける程であった。しかし省試では何度受けてもうまくいかなかった。（諸が）省試に赴く時、必ず胡僧が夢に出てきた。勇ましく偉大な姿の僧は（諸に）向かって、「君の今回の受験は無駄なだけだ。君の骨相には才能が出ているものの、禄位を得ることはきっとできないだろう。寿命は耳順（＝六十歳）を超える。これ以外、私にわかることはない」と言うのだった。五十歳を過ぎ、（諸が）また省試に赴こうとした時、以前の僧が夢に現れ、（諸に）祝意を表して、「君の今回の受験は必ず合格すること間違いない」と言う。夢の中で（諸は）僧をなじって言うことには「あなた様は以前に私は決して禄位を得られないとおっしゃいました。今回は意外にも合格するとおっしゃいます、一体どういうことでしょうか」と。僧は「君が深い心遣いをしながら童子たちを教え導き、その両親の（大きな）期待を裏切らなかったことは、陰徳（＝人に知られない善行）であり、それ故天が君の寿命を延ばし、禄位で君に報われるのだ」と言う。そこで（僧は諸を）とある役所に引っぱって行くと、庭に並べられた古楽器を指さして、「君はひとまずこのことを覚えておきなさい、将来のいつかその意味するところをはっと悟るであろう」と言った。その後も（諸は）同じ夢をたびたび見たが、僧は二度と現れず、並べられた楽器は最初に夢見たそのままであった。その頃、蜀公が新しい楽曲を献上したので、延和殿において試聴を行うとの詔が出された。王諸は（今回の試験では）必ず音楽が問われると考え、おおよそ古今の音楽に関わる問題で、注意して考えないものは何一つなかった。試験の当日、出された賦題は、なんと「楽調、四時和す」であった。この年、（諸は）はじめて正式に天子に名前が奏上されることとなり、馬涓が主席合格した試験において及第したのであった。（その後、諸は）いくつかの官職を歴任し、奉議郎の時に辞職して、七十七歳で、家で没した。潞の人々でこのことを語る者が大変多かったので、ここに記録しておく。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

五

問一　イ
問二　ヘ
問三　イ
問四　性

〔訳〕

先代の儒者がかつて、「孔子は、『人間の本性は誰しも似たり寄ったりだが、習慣や教養によって大きな違いが出てくる』と言ったが、似たり寄ったりだと唱えはしたものの、本性が善であるか悪であるかは言っていない。孟子に至って初めて本性は善であると唱えた。孟子が既に（本性は）善だと考えたので、荀子は悪だと考えた。善であるか悪であるかは孟子と荀子とが既に言っている。だから揚雄は善と悪とが入り交じっていると考えた。善と悪とが入り交じっていることは揚雄が既に言った。だから韓愈は上・中・下の三等級〔＝純粋に善・善にも悪にもなる・純粋に悪の三種類〕があると考えた。学者たちの（本性に関する）見解が入り乱れているのは、おそらく孟子から始まったのだ」と言ったことがある。この説はなんと浅薄であろうか。君子が物の道理について語る時は、ただ正しいことだけ（を考えるもの）だ。他人とは違った見方を探し求めて、自分の説を立てるはずがない。（先代の儒者には）孟子の本性は善だとする説は、おそらく『易経』の「（天から）受け継いだものが善、それを磨き上げるのが本性」という説に基づいていることが、全くわかっていない。（これは）本当に、永久不変の正論である。荀子が（本性は）悪だと言ったのは、感情を本性だと考えたものである。揚雄が善と悪とが入り交じっていると言ったのは、習慣を本性だと考えたものである。韓愈が上・中・下の三等級があると言ったのは、才能を本性だと考えたものである。いずれも根本のところを明らかにしていない。根本のところを明らかにしたものとしては、ただ孟子の本性は善だとする説だけが極めて適切である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第五講　解答解説

〔解説〕

①（Ⅰ）七言詩のリズムは「2・2・3」なので、ロかホに絞る。ロの訳は「白い衣装が起こることは無く、風塵に嘆く」となり、意味不明。ホは「白い衣装が、風塵の（せいで黒く汚れてしまう）嘆きを起こすことがないように＝白い衣装が黒くなってしまうなどと嘆くことはない」という意味になる。よって、正解はホ。

（Ⅱ）八行は律詩。実際は選択肢ではなく、記述の問題であった。

② 押韻の問題。偶数句末の漢字は「臣・津・隣・辰・人」＝「〜ｉｎ」の響き。よって、正解はホ。

③（1）二重傍線部の「この花」は、古文文章中の「菊」を指している。菊は九月＝秋の花（←古文常識でもあるが、「重陽の節句」は、九月九日に菊に長寿を祈る節句。陽（奇数）が重なる日で、奇数の中で一番大きな数字なので「重陽」と言われている）。ホの「叢」は、集まりはえる様子。ニの「空」は、おかしい。よって、正解はホ。

（2）「更無花」（さらに〜なし＝まったく〜ない）からイかロに絞る。「開尽」から「咲き終わる」。よって、正解はロ。

④「乃」の読みは「すなはち」なので、ハかホに絞る。「於」の直後は基本補語となり、送り仮名は「〜ニ・ト・ヨリ（モ）」。ホは「康衢を」と目的語としている。よって、正解はハ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑤　中国、古代の伝説上の帝王の尭と舜は、徳をもって天下を治めた理想的な帝王で、知っておくべき知識問題である。よって、正解はハ。

〔解答〕

①（Ⅰ）ホ　（Ⅱ）ニ　②ホ　③（1）ホ　（2）ロ　④ハ　⑤ハ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。